



愛知大学県政連続講義



愛知県の産業振興

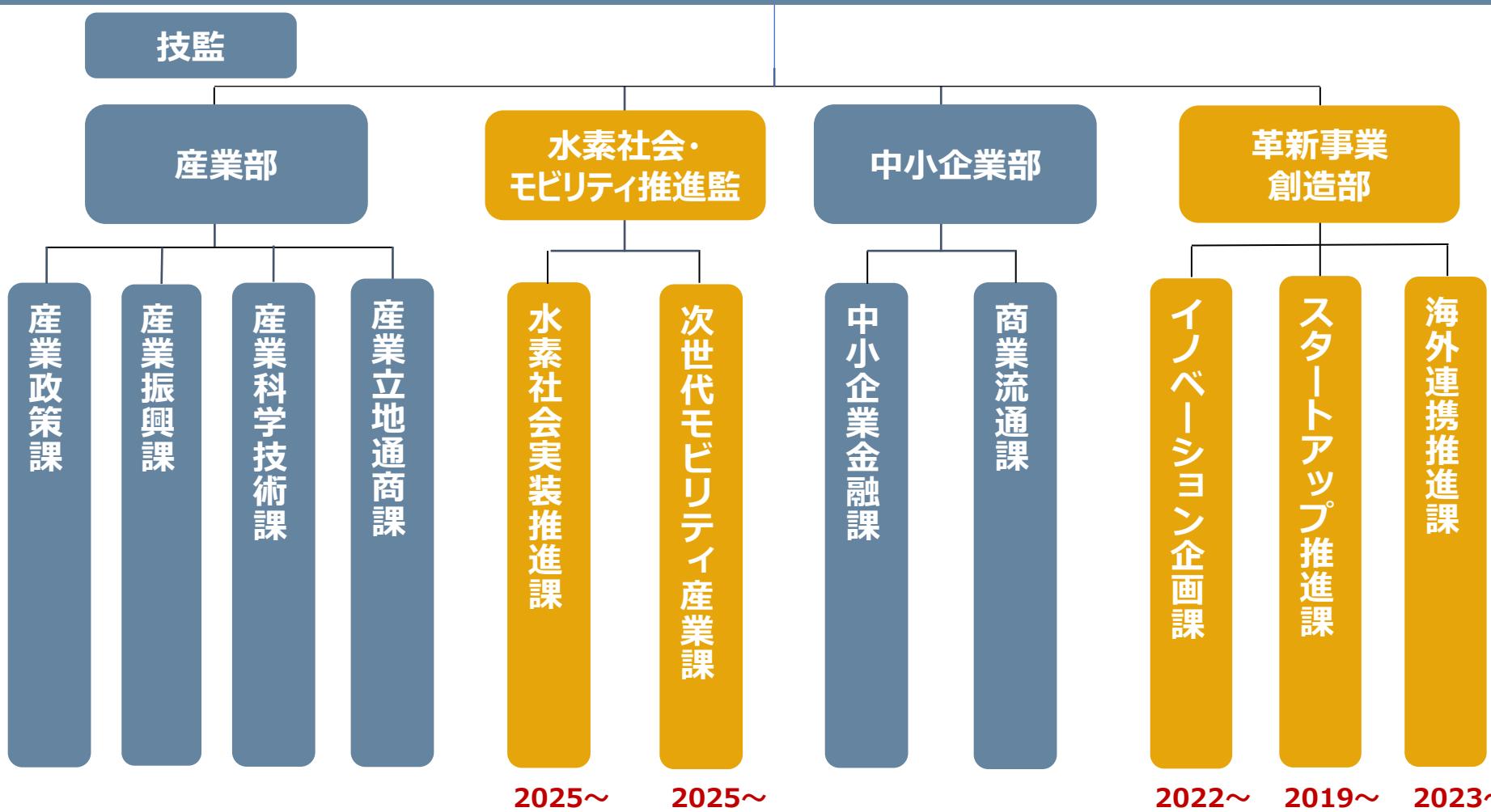
三菱重工/JAXA

2025年10月6日

愛知県経済産業局 産業部 産業政策課

経済産業局の組織図

愛知県 経済産業局



○あいち産業科学技術総合センター（本部、産業技術センター、食品技術センター、2 繊維技術センター、3 烹業試験場）

○県民事務所産業労働課等（東三河、尾張、海部、知多、西三河、新城設楽）

○東京事務所産業誘致課

「現在」を知る

数字でわかる
愛知の産業と経済

「モノづくり王国」愛知の製造品出荷額等は全国1位。何年連続でしょうか。

- (1) 17年連続
- (2) 27年連続
- (3) 47年連続



製造品出荷額等：1年間における製造品の出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び
製造工程からでなくす及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額

47年連続日本一

都府県名	製造品出荷額等(2023年)
愛知県	58.02兆円(1位)
静岡県	19.77兆円 (2位)
大阪府	19.34兆円 (3位)
神奈川県	18.48兆円 (4位)
兵庫県	18.46兆円 (5位)

出典：2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）

愛知県の製造品出荷額等は、2位静岡県の約2.9倍
1977年から47年連続日本一

愛知県がシェア全国一の産業はどれで
しょうか？（複数あります）

輸送用機械



電気機械



ゴム製品



鉄鋼



プラスチック



金属製品



窯業・土石



繊維



業務用機械



生産用機械



10業種 (全て) 全国1位

全国シェアNo.1

輸送用機械

全国シェア**41.2%**
(3兆9,087億円)



電気機械器具

全国シェア**16.5%**
(3兆5,915億円)



ゴム製品

全国シェア**14.5%**
(5,737億円)



鉄鋼

全国シェア**14.4%**
(3兆4,203億円)



プラスチック製品

全国シェア**13.2%**
(1兆7,839億円)



金属製品

全国シェア**10.7%**
(1兆8,641億円)



窯業・土石製品

全国シェア**10.2%**
(8,707億円)



繊維工業

全国シェア**9.6%**
(3,832億円)



業務用機械器具

全国シェア**9.7%**
(7,410億円)



生産用機械器具

全国シェア**9.4%**
(2兆3,288億円)



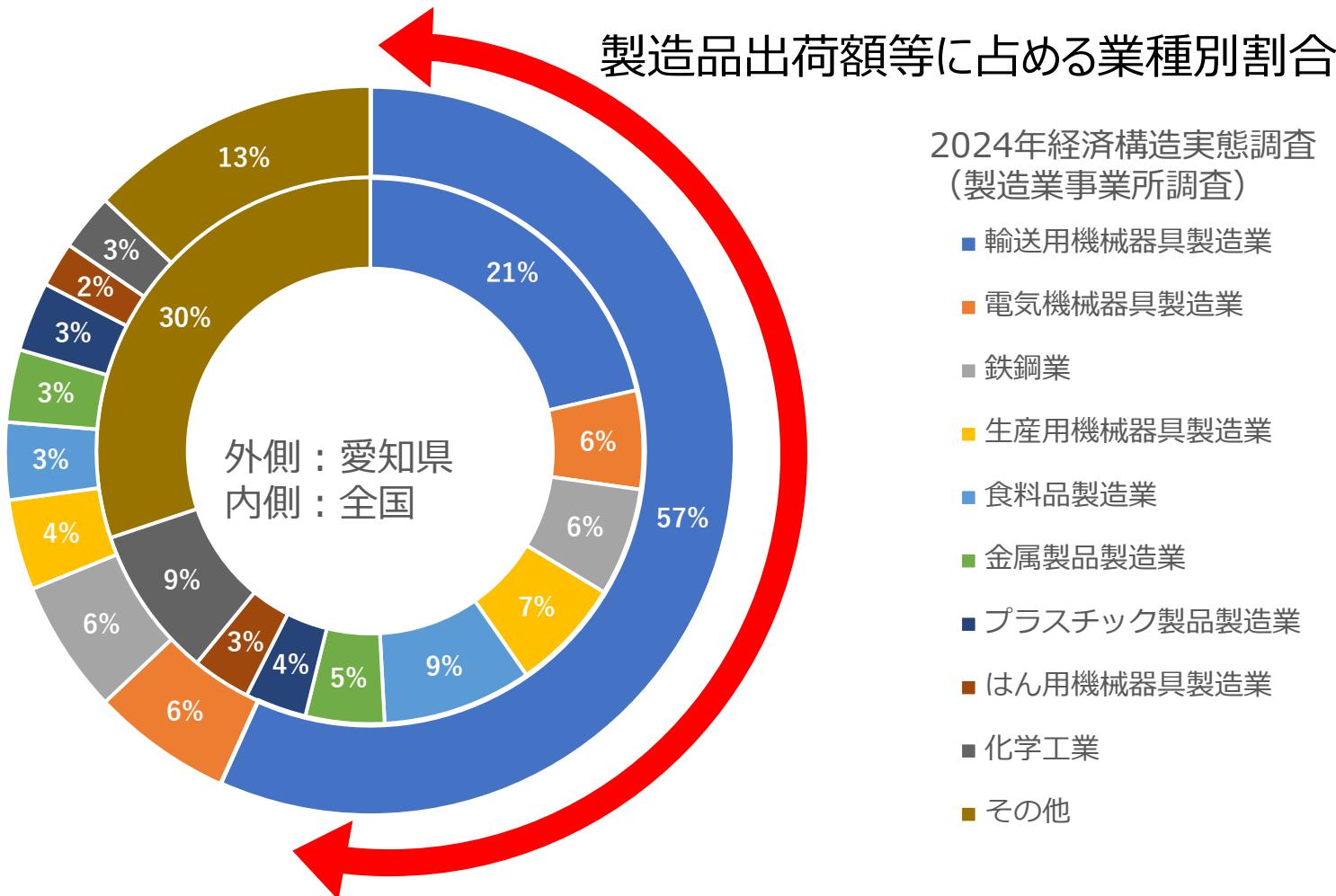
(総務省・経済産業省

「2024年経済構造実態調査 (製造業事業所調査)」)

製造業の産業分類 (中分類) 24業種中10業種でシェア1位



輸送機器（自動車）に依存した構造 多様な産業の育成が重要



製造品出荷額等の過半数にあたる約57%が輸送用機械器具製造業

2024年、**我が国は約5.4兆円の貿易赤字**
名古屋税関管内の貿易収支はどうだったでしょうか。

- (1) 約**0.5兆円の赤字**
- (2) 約**3.0兆円の黒字**
- (3) 約**11.0兆円の黒字**



約11兆円の黒字

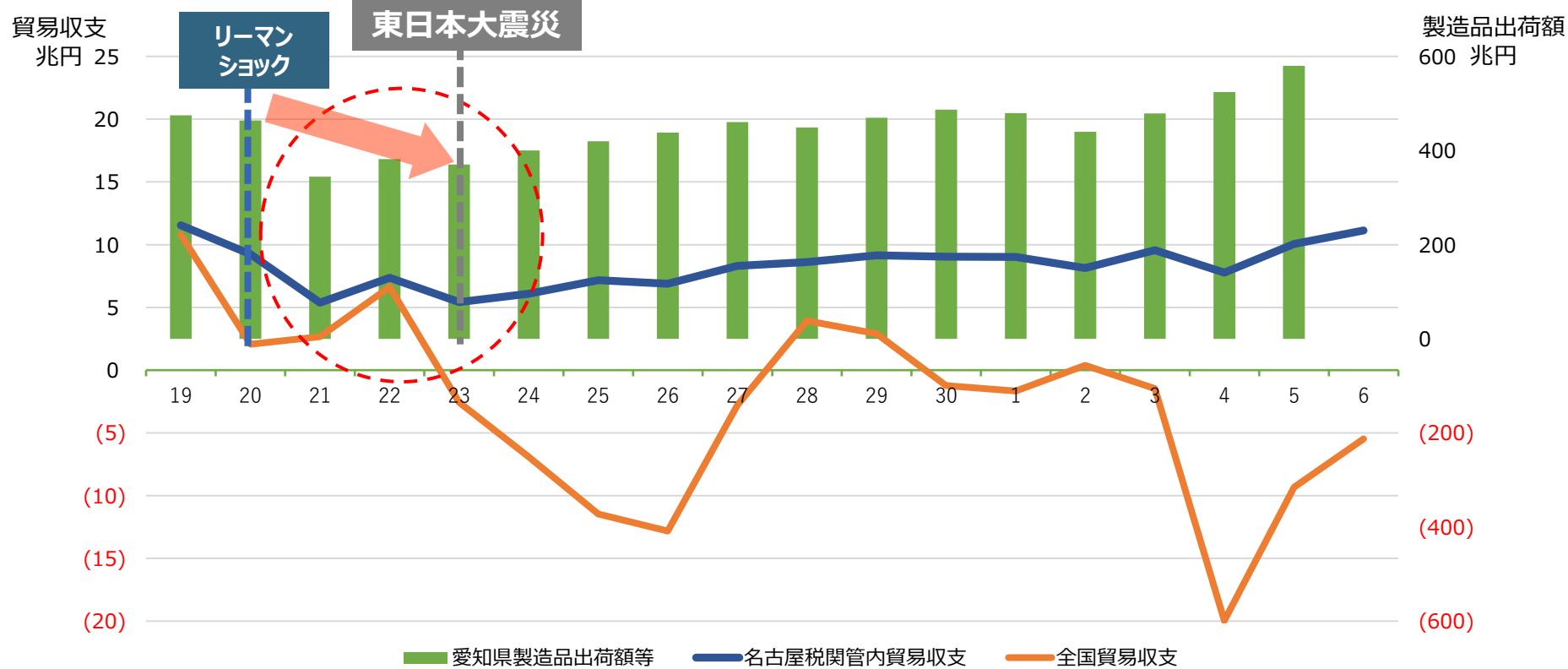
(単位:百万円)

	税関名	貿易収支
1	名古屋	11,125,186
2	門司	4,205,625
3	神戸	651,232
4	大阪	9,105
5	沖縄地区	▲262,507
6	函館	▲1,567,717
7	長崎	▲2,194,040
8	横浜	▲5,509,986
9	東京	▲11,928,102
全国合計		▲5,471,203

出典：名古屋税関 令和6年分管内貿易概況（確々報）

しかし

貿易収支は安定しているが、
企業収益は為替の影響が大きい。



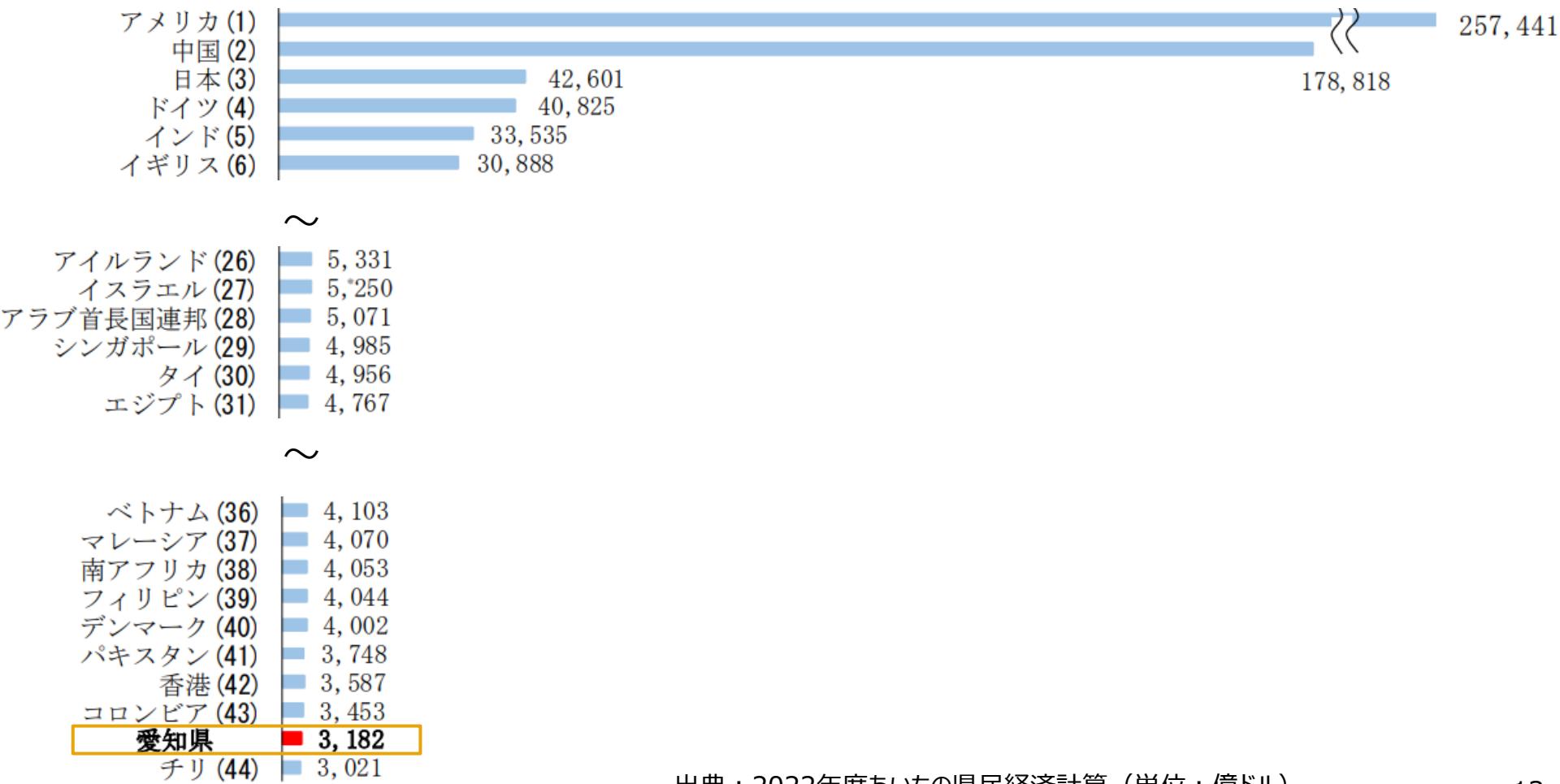
県内A社の 年度別為替影響	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	-7,600	-3,200	-2,900	-2,500	1,500	9,000	2,800	1,600	-9,400	2,650	-500	-3,050	-2,550	12,800	6,850	5,350	-1,560

愛知県の県内総生産は、世界の国と比べると何位相当でしょうか。

- (1) シンガポールを上回る**28**位
- (2) チリを上回る**44**位
- (3) ネパールを上回る**98**位

世界第44位（相当）

国内総生産及び県内総生産の国際比較

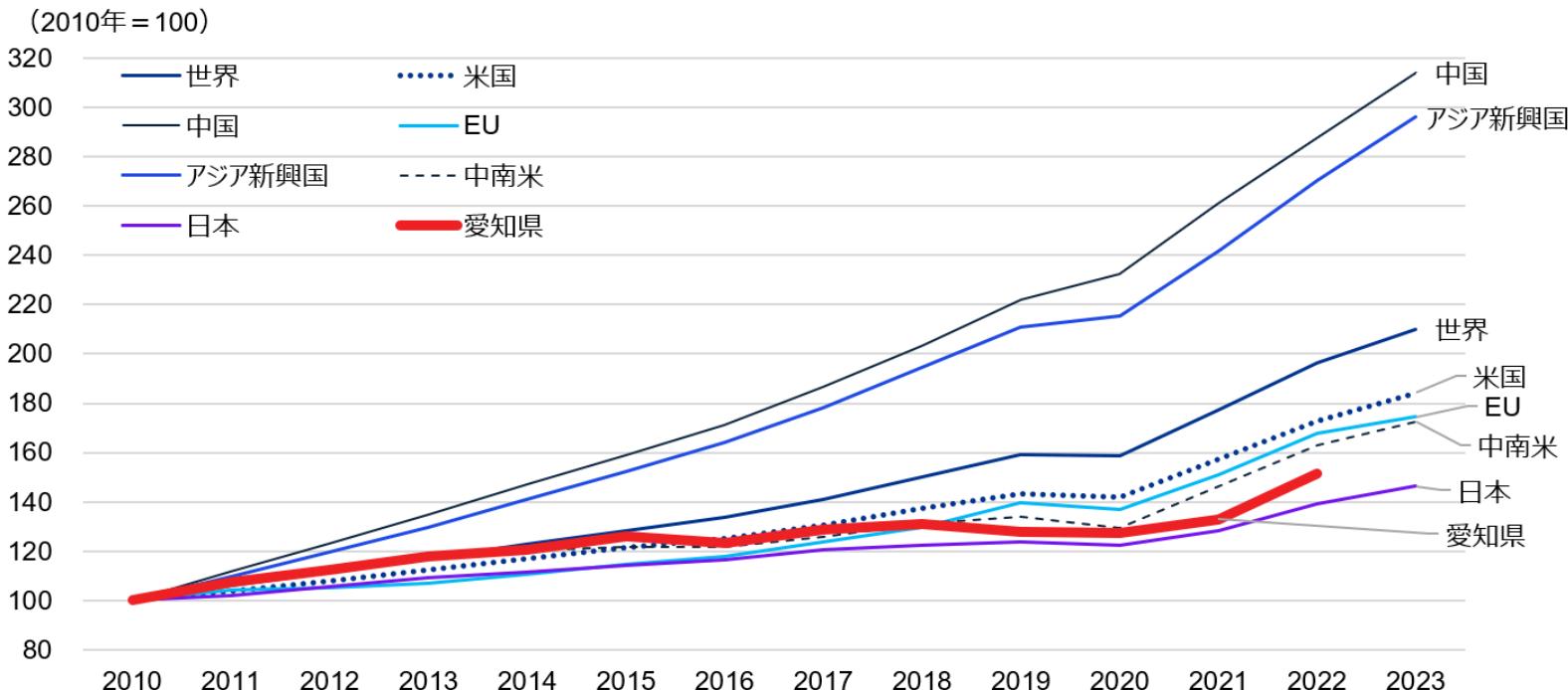


出典：2022年度あいちの県民経済計算（単位：億ドル）

しかし

2010年には28位、その後ほとんど成長しておらず、諸外国の成長に追いつけていない。

世界各国・地域のGDP（購買力平価）



出典) IMF "World Economic Outlook Database, October 2024"、内閣府「県民経済計算」を基にKPMG作成

注) 愛知県は日本の購買力平価換算レートを使用。愛知県は年度

出典: 愛知県「次期あいち経済労働ビジョン基礎調査」

愛知県の県民総生産の世界順位相当推移

2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
28位	28位	27位	33位	35位	32位	30位	31位	32位	34位	34位	40位	44位

県内企業の従業員比率のうち、中小企業の比率は何%でしょうか。

- (1) 45.0%
- (2) 59.0%
- (3) 72.0%



※中小企業の定義は、中小企業基本法による。

中小企業、小規模企業者の定義

業種	中小企業者 (下記のいずれかを満たすこと)		小規模企業者
	資本金の額 又は出資の総額	常時使用する 従業員数	常時使用する 従業員数
① 製造業、建設業、運輸業 その他の業種 (②～④除く)	3億 円以下	300人 以下	20人 以下
② 卸売業	1億 円以下	100人 以下	5人 以下
③ サービス業	5,000万 円以下	100人 以下	5人 以下
④ 小売業	5,000万 円以下	50人 以下	5人 以下

※上記は、「中小企業基本法」に基づく定義であり、法律や制度によって扱われる範囲が異なる場合がある。

72.0%

愛知県内企業数・従業者数

	企業数	従業者数
総数	195,912	100.0%
中小企業	195,313	99.7%
小規模企業	161,194	82.2%

出典：中小企業庁「都道府県・大都市別企業数、従業者総数」
(民営、非一次産業、2021年)

愛知県内の企業数の**99.7%**、従業者数も**72.0%**は中小・小規模企業。
中小・小規模企業は本県の経済と雇用を支えている。

中小企業は、我が国の産業と雇用を支えているが、就職の希望は少ない。

従業員規模別求人総数および就職希望者

従業者規模		2024年 3月卒	2025年 3月卒	2026年 3月卒
300人未満	求人数	427,500	433,100	398,700
	就職希望数	69,100	66,000	44,000
300-999人	求人数	146,800	152,200	152,900
	就職希望数	128,400	95,000	107,000
1,000- 4,999人	求人数	148,400	159,500	160,600
	就職希望数	130,200	140,100	152,400
5,000人以上	求人数	50,200	52,400	52,600
	就職希望数	123,300	153,300	157,000

出典：リクルートワークス大卒求人倍率調査
(2025.4.24発表資料)

県内企業の付加価値額のうち、中小企業の比率は何%でしょうか。

- (1) **88.5%**
- (2) **59.3%**
- (3) **30.6%**

※民営、非一次産業、企業ベースでの付加価値額。

59.3%

愛知県内企業の規模別付加価値額（民営、非一次産業）

(単位：億円)

	愛知県	(参考) 東京	(参考) 全国
総数	156,721 100.0%	1,025,158 100.0%	2,502,401 100.0%
中小企業	92,896 59.3%	352,615 34.4%	1,401,185 56.0%
小規模企業	22,155 14.1%	67,704 6.6%	363,643 14.5%

2020年数値

出典：中小企業白書2025

付加価値額でみると、中小企業の割合は**59.3%**。

企業の生産活動からみても、中小企業が本県経済を支えていることがわかる。

中小企業の業況は、エネルギー・物価高騰の長期化などにより、いまだ厳しい状況にある。

企業規模別業況判断DIの推移



資料：中小企業庁・（独）中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

（注）1.景況調査の業況判断DIは、前年同期と比べて、業況が「好転」と答えた企業の割合（%）から、「悪化」と答えた企業の割合（%）を引いたもの。

2.ここでは、中小企業とは中小企業基本法第2条第1項の規定に基づく「中小企業者」、小規模事業者とは中小企業基本法第2条第5項の規定に基づく「小規模企業者」、中規模企業とは中小企業から小規模事業者を除いた企業をいう。

ここまでまとめ

- 製造品出荷額等は**47年連続**1位（2023年）
- 製造業**10業種**で全国シェア1位
- 名古屋税関の貿易収支は約**11兆円の黒字**（2024年）
 - **輸送機器に依存した構造**のため、多様な産業の育成が重要
 - 企業収益は為替影響額が大きい
- 県内総生産は世界第43位相当（2022年）
 - 2000年以降、**諸外国の成長に追いついていない**
- 県内企業の**99.7%**が中小企業
- 従業員数**72%**、付加価値額**59.3%**と本県経済を支える存在
 - 中小企業は、エネルギー・物価高騰などの影響により**業況はいまだ厳しい**

「過去」を学ぶ

歴史で知る
モノづくり王国・愛知の源流

あいちのモノづくりの源流



水 の文化

豊富で**良質な水**による発酵文化、水運による物流

水運により、醸造品や瓦、石工品が全国に流通



木 の文化

河川の水運により**良質な木材**が豊富に流通

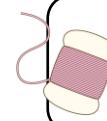
秀吉による木曽材の活用、尾張藩による領有と保護



土 の文化

陶磁器や鋳物の**製造に適した土・砂**が県内で多く産出

千年以上の歴史を有する世界有数の陶磁器産地



糸 の文化

三河木綿、知多木綿などの**優れた繊維**

幕府の綿織物の振興策により、木綿栽培が拡大



良質な水・木や土、繊維、など、モノづくりに必要な材料・技術が集積

古くから交通の要衝であった当地域は、**東西の文化が交流**し高度なモノづくり文化を芽生えさせた。また、度重なる戦乱や織田信長が**全国から集めた技能者**に「天下一」を競わせたことも、優れたモノづくり文化がこの地域に根付くきっかけにもなった。

豊富で良質な**「水」**は水運や食品産業に貢献し、明治以降は**電力供給**にも活用、良質な**「木材」**は当初は燃料として、その後、**加工産業の基礎**に、良質な**「土」**は**窯業・鋳物**に、木綿をはじめとした**「糸」**は**織物技術**の集積に貢献。

江戸期まで



モノづくりの源流となる素材をそのまま使った産業が栄える

発酵食品

良質な水を活用した**発酵食品**（味噌・醤油・酢）が発展
焼き物の甕に入れられて、水運を活用し全国に展開

からくり 木造建築

木材を用いた**からくりや山車、漆器**などの加工が盛んに
木曽材を用いて、名古屋城などの**優れた木造建築**が建立

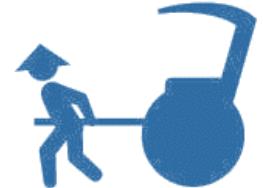
陶器 磁器

平安期より良質な土を用いた**陶器生産**が盛んに
江戸後期には**磁器の生産**も開始、両方生産する地域は希少

糸・織物 染物

木綿栽培の発達により**綿糸の生産**が盛んに
織物、染物も発展し、のちの繊維産業の基盤に

明治期～太平洋戦争まで



海外からの繊維機械の輸入、豊田佐吉翁等の発明や改良により機械の高度化・省力化

➤ 近代的な工場設立

繊維産業
基幹産業

産地の確立

尾西地方	→毛織物	半田・西尾・蒲郡	→綿スフ織物
岡崎・安城	→綿・羊毛紡績	東三河	→生糸

木工業
の技術



繊維機械
の発展

自動車産業、工作機械産業が発展

軍事需要
の増加

航空機産業、重機械産業が発展

戦後から高度成長期まで



傾斜生産
朝鮮特需

傾斜生産方式による**製鉄、重機械工業分野**の復興
朝鮮特需による幅広い分野の復興

繊維産業

繊維産業は**主力産業**として1960年代まで成長

自動車
産業

マイカーブームや海外進出で**自動車産業が成長**
並行する形で、工作機械等、**幅広い製造業が発展**

モノづくり産業の変遷と成長

1880年代後

612万円	
織物	30%
製糸工業	38%
陶磁漆器・七宝	21%
有松絞	8%
扇子	3%

1940年

20億円	
紡織工業	31%
機械器具	30%
化学	7%
食料品	7%
金属工業	7%

1960年

1兆3,878億円	
織維工業	30%
輸送用機器	15%
食料品	9%
機械	8%
化学	7%

1980年

20兆5,983億円

輸送用機器	31%
鉄鋼	10%
一般機械器具	9%
食料品	7%
電気機械器具	6%

2000年

34兆3,361億円

輸送用機器	45%
一般機械器具	10%
電気機械	9%
鉄鋼	5%
プラスチック	4%

2020年

43兆9,789億円

輸送用機器	53%
電気機械	8%
鉄鋼	5%
生産用機械	4%
食料品	4%

世界に誇る企業家・発明家

愛知出身者・関係者



豊田佐吉
トヨタG創業



豊田喜一郎
トヨタ自動車創業



吉野彰
Li-ion電池発明



西美緒
Li-ion電池実用



奥田正香
日本車輌製造
名古屋瓦斯等創業



橋本増治郎
ダット自動車創業
(現NISSAN)

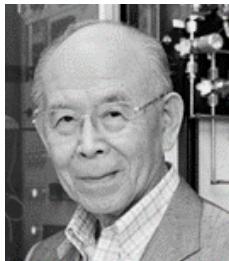
女性企業家

村山きぬ・正夫
大須ういろ創業

相川うめ
まるは食堂開業



天野浩
青色LED発明



赤崎勇
青色LED発明



盛田昭夫
SONY創業



井深大
SONY創業



本多光太郎
KS鋼発明



福沢桃助
大同特殊鋼、日清紡、
関電、中電、東邦ガス、名鉄、
東亞合成等創業

山崎定吉
Mazak創業

大隈榮一
オークマ創業

安井正義・実一
brother創業

田中恭一
メニコン創業

舟橋甚重
フジパン創業

中野又左衛門
mizkan創業

蟹江一太郎
KAGOME創業

中島董一郎
キューピー・アヲハタ創業

盛田善平
敷島製パン創業

森村市左衛門
森村G※創業
森村 G : Noritake, TOTO, NGK, NTK, INAX (元)

あいち創業館 (Aichi Founders Museum)

- 愛知県にゆかりのある創業者・経営者の業績等を伝える施設
(スタートアップ支援拠点「STATION Ai」2階)
- STATION Aiに集うスタートアップに勇気や励みを与え、施設の賑わいや彩りを創出するとともに、施設を見学等で訪れる子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらうことを目的とする。

②産業のルーツゾーン

- あいちの産業のルーツを紹介する映像や、関連する企業・製品群を紹介

①導入ゾーン

- 企業家の名言が刻まれた土壁



④探求・交流ゾーン

- 企業家に関する書籍が閲覧できるライブラリーを設置
- イベント等を通じた他の来館者との交流を実施

③偉人との出会いゾーン

- デジタル検索ツールを活用して企業家のエピソードや生み出した製品などを紹介

主な展示対象の創業者・経営者 <一部>

- 伊藤 祐民 <J.フロントリテイリング(株)、(株)三菱UFJ銀行>
奥田 正香 <日本車輪製造(株)、東邦ガス(株)、(株)名古屋証券取引所>
蟹江 一太郎 <カゴメ(株)>
神谷 傳兵衛 <オエノンホールディングス(株)>
豊田 喜一郎 <トヨタ自動車(株)>
豊田 佐吉 <(株)豊田自動織機>
福沢 桃介 <中部電力(株)、大同特殊鋼(株)>
盛田 昭夫 <ソニーグループ(株)>
六代目 森村市左衛門 <(株)ノリタケカンパニーリミテド>



場所 : STATION Ai 2階

面積 : 約 353 m² (うち展示室内 : 302 m²)

「未来」を考える

- 2040年頃の社会経済の展望
- あいち経済労働ビジョン2021-2025の目標
- 施策の体系、2030年から2040年に向けて
目指すべき姿
- 主な産業施策の紹介

2040年頃の社会経済の展望

2040年頃の展望

1. 感染症・災害・犯罪リスクの増大
2. 人口減少の進行、人生100年時代の到来
3. 暮らし・労働・学びの多様化
4. 共助社会の必要性の増大
5. 世界経済の多極化、経済重心のアジアへのシフト
6. 世界的な人材獲得競争の激化
7. 第4次産業革命の進展
8. スーパー・メガリージョンの形成
9. 都市のスponジ化、高齢インフラの増加
10. 脱炭素化の進展、循環型社会への移行

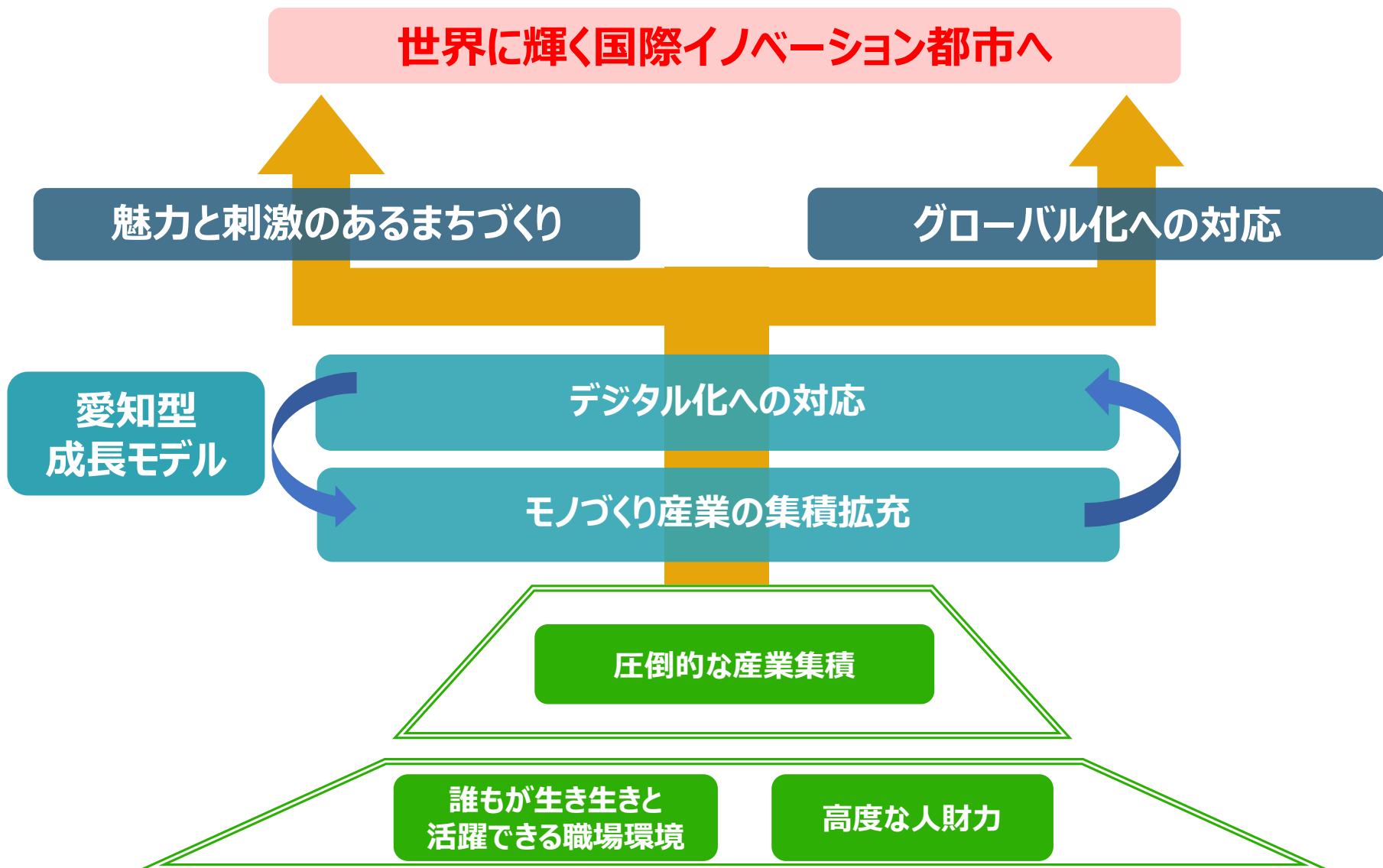
出典：あいちビジョン2030

愛知県では、2040年頃の社会経済を展望し、2030年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン2030」を策定しています。

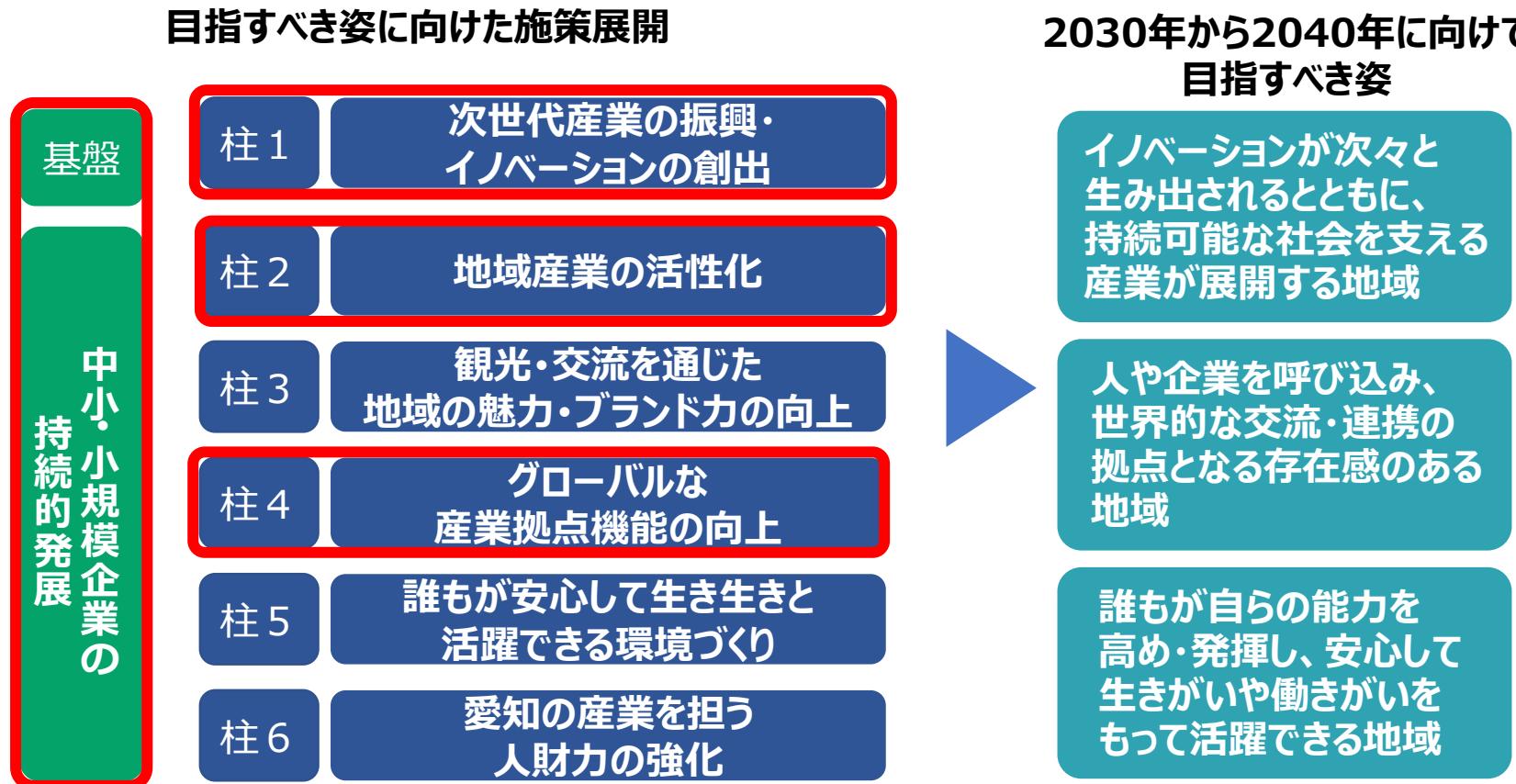
▶詳しくは

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kikaku/aichivision2030.html>

あいち経済労働ビジョン2021-2025の目標



施策の体系、2030年から2040年に向けて目指すべき姿



本日は産業政策を中心に説明しますが、愛知県の中期計画である「あいち経済労働ビジョン2021-2025」では、労働・観光分野を含め計画を策定しています。

▶詳しくは

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keirou-vision2025.html>

柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

- 愛知県の強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実

次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進

- 交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指した
自動運転の定期運行・実証実験を実施

航空宇宙産業の振興

- 「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、**販路拡大、人材育成等の支援を実施**

ロボット産業の振興

- **ローンや介護・リハビリ支援ロボットの活用、サービスロボットの社会実装を促進**
- 人材創出を目的とした**高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催**

革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

- 2030年に導入が見込まれる近未来の事業・サービスを先行して実用化することを目指す
あいちデジタルアイランドプロジェクトを推進

スタートアップ・エコシステムの形成促進

- 「Aichi-Startup戦略」に基づいたスタートアップの創出・育成・展開・誘致を図るための拠点施設**「STATION Ai」の整備・運営等**
- 民間提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を目指す**「革新事業創造戦略」の推進**

次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進

○ 交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指した**実証実験・運行を実施**



STATION Ai付近での運行の様子（名古屋市）



高速道路での走行の様子（常滑市）



モリコロパークでの走行の様子（長久手市）

2025年度取組内容

▶ 名古屋市中心部における定期運行

- ・エリア拡大：名古屋駅、STATION Aiに栄を加え3地点間をループ走行
- ・台数増：2台走行により複数台オペレーションの課題抽出・受容性向上

▶ 高速バスの実証実験 全国初

- ・大型観光バスタイプの車両の 80km/h 高速走行・ビジネスモデル検討

▶ モリコロパークにおける運行実証

- ・園内バスの自動化を見据えた技術・オペレーション検証

2024年度取組内容

▶ 交通量の多い都市部における幹線道路の車速に沿った自動運転車両による定期運行（名古屋市） 全国初

- ・中型バス車両による高速道路の走行検証 全国初 及び
・コミュニティバスをイメージした自動運転サービスの検証（常滑市）
- ・多数の歩行者が行き交う場所での歩車共存の検証（長久手市）

航空宇宙産業の振興

- 県が中心となり、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、航空機需要拡大期における**販路拡大、人材育成、新規参入**等の支援を実施



2024国際航空宇宙展

2025年度取組内容

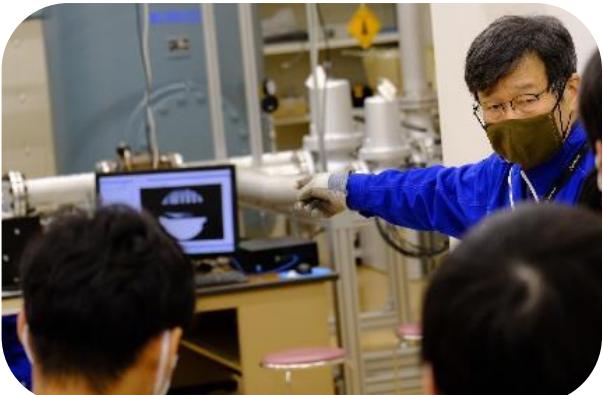
- エアロマート名古屋2025等の展示会・商談会への出展支援
- 航空宇宙産業に関わる各階層に応じた人材育成講座の実施
- 新規参入に向けた認証の取得・運用支援の実施
- 専門家による競争力強化、販路開拓、経営改善等の取組支援

あいち・なごやエアロ スペースコンソーシアム

設立：2018年8月24日

目的：当県における航空宇宙産業の継続的な発展のため、
地域が一体となって推進するための事業を実施すること

構成：県、名古屋市、中部航空宇宙産業センター、
あいち産業振興機構 等



設計演習講座

ロボット産業の振興①

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核に、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地を目指し、**ドローンや介護・リハビリ支援ロボットの活用、サービスロボットの社会実装を促進**



介護リハビリ支援ロボットの活用促進

2025年度の取組内容

- オープンセッションを通じた最新情報の提供や「あいちサービスロボット実用化支援センター」等における開発企業に対する相談対応や施設等とのマッチング支援
- 自動配送ロボットの社会実装を目指した公道実証実験の実施
- ドローンエンジニア人材育成に向けたカリキュラム・テキストの試行運用

あいちロボット産業クラスター推進協議会

設立：2014年11月18日

目的：产学研行政が連携して競争力あるロボット技術・製品の創出を促し、開発と生産の拠点を形成するとともに、ロボットの活用による県内産業の高度化や地域課題の解決を推し進めることにより、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地を目指す

委員：県、経済団体、ロボットメーカー、有識者 等



自動配送ロボットの公道走行実証実験

ロボット産業の振興②

- モノづくり現場の自動化を担う**ロボットシステムインテグレータ**（ロボットSIer:エスアイヤー）**の人材創出を目的とする高校生ロボットシステムインテグレーション競技会**（SIリーグ）を開催



ロボットSIer企業による伴走支援

2025年度の取組内容

- システムインテグレーションをテーマとした全国唯一の高校生競技会
- Aichi Sky Expoで第4回競技会を開催（2025年12月13～14日）
- ロボットSIer企業18社が、技術指導等で全国20校（県内10校・県外10校）の高校を伴走支援
- ロボットメーカー 4社（デンソーウェーブ・ファナック・三菱電機・安川電機）がロボットを無償貸与

2025年はWorld Robot Summit 2025も同時開催！

World Robot Summit (WRS) とは、ロボットの社会実装や研究開発の加速を目的とした、国際的なロボット複合イベント。

イベントの中心となる競技会では、最先端のロボット技術やソリューションを競うために、世界中から参加チームが集結。

愛知県においては、「モノづくりロボットチャレンジ」（競技会）とWorld Robot Expo（展示会）が実施。



併せて、次代のロボット人材・モノづくり人材の創出を目指し愛知県主催で子ども向けのロボット体験イベント「あいちロボフェス」も開催。



競技会でのデモンストレーション

革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

- あいちデジタルアイランドプロジェクトでは中部国際空港島及び周辺地域において、**近未来の事業やサービスを早期に実用化**することを目指し、**企業との共創による実証実験や企業と先端デジタル技術のマッチング支援**を実施

2024年度取組内容

生体認証システム事業

当エリアで開催されたアウトドアイベントや観光施設等において、顔認証による決済やスタンプラリーなど複数のユースケースで実証実験を実施



データを活用した行動変容事業

当エリアの人流データを取得・分析とともに、空港島を訪れた人に対して行動の変容を促す実証実験を実施



先端デジタルサービス実装パイロット事業 「TECH MEETS」

当エリアの企業等から提示された課題、テーマに対し、先端デジタル技術をもつテック企業・スタートアップをマッチングし実証実験を実施



エリアビジョン・マッチング事業

オープンイノベーションフィールドとして当エリアの目指す姿を検討とともに、フィールドを活用したい事業者とのマッチングや、各種相談を受けるワンストップ窓口を設置



2025年度取組内容

空の玄関口となる空港島エリアを起点として、企業マッチング、専門家による伴走を通じた実証プロジェクトの支援、ワンストップ窓口による実証フィールドの提供支援等による、デジタル技術の普及促進、実装を推進

スタートアップ・エコシステムの形成促進①

- 2018年、国に先駆けてスタートアップ・エコシステム形成に向けた「Aichi-Startup戦略」を策定（毎年度改定）
- 日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」を、ソフトバンク(株)と連携して整備・運営
- 愛知県が有する海外の先進的なスタートアップ支援機関や大学とのネットワークと、ソフトバンク(株)が有する世界的なネットワークを融合させ、世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティを形成

2024年10月 開業

- ・事業手法 PFI(BTコンセッション方式)
- ・事業者 ソフトバンク(株)が設立したSPC 「STATION Ai(株)」
- ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
- ・延床面積 約23,600m²(7階)**【日本最大】**
- ・会員数 スタートアップ：約550社
パートナー企業：約350社

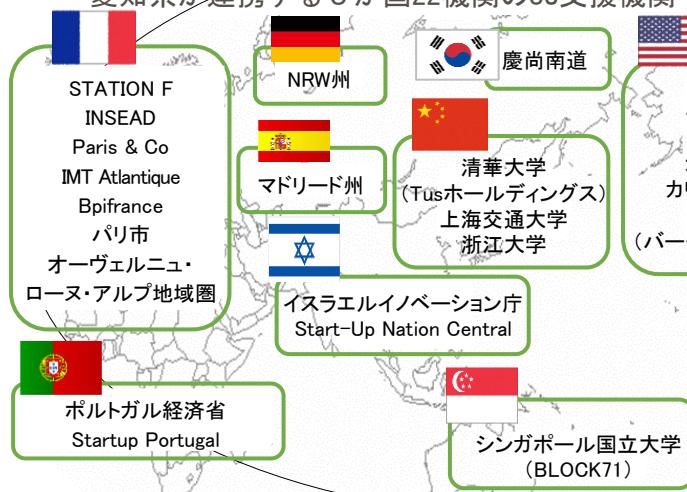


オープニングセレモニーには3日間で約4,000人が来場



海外の先進スタートアップ・エコシステムとの連携

愛知県が連携する9か国22機関のSU支援機関・大学



「Aichi-Startup戦略」
(2025年8月末時点)

グローバル
イノベーション都市

18 大学



29 金融機関



35 団体

251 企業



6 学識者

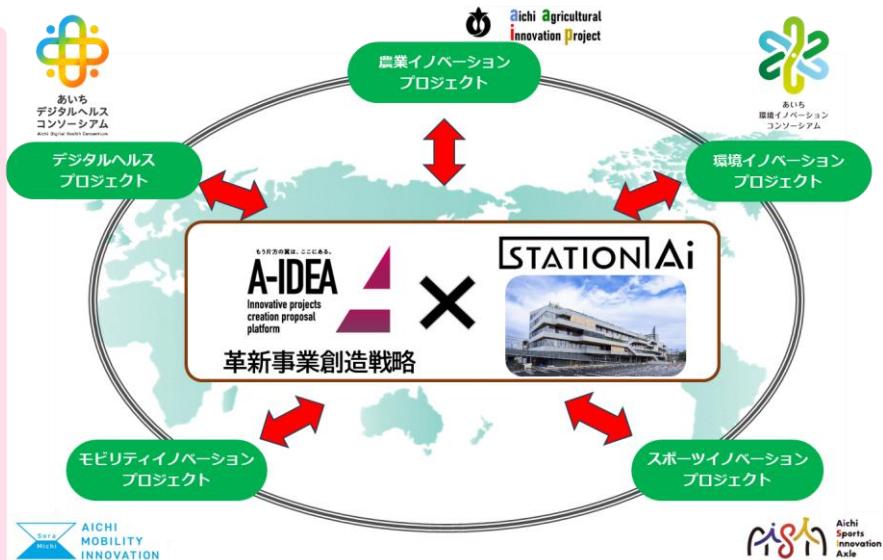
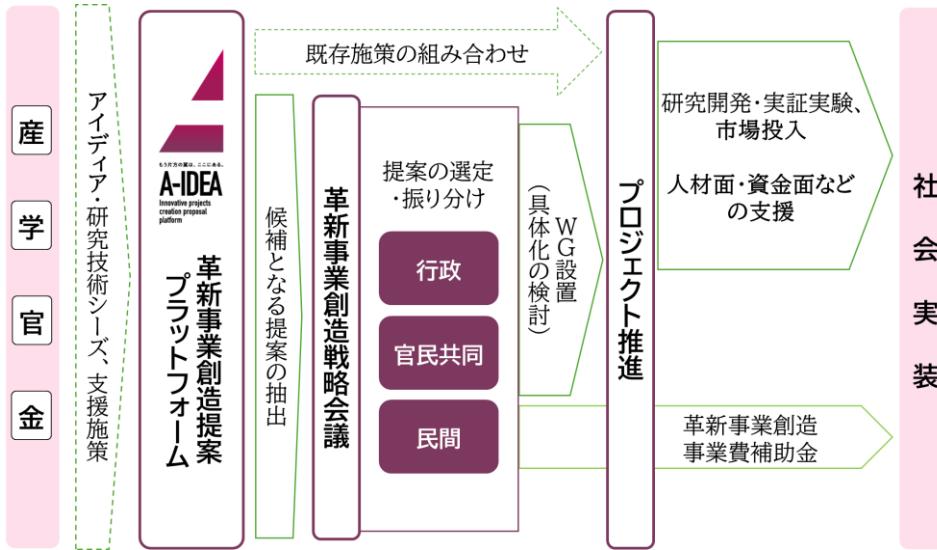


22 行政機関

合計 361 者

スタートアップ・エコシステムの形成促進②

- 「革新事業創造戦略」(2022年12月策定)に基づき、民間提案を起点とした**社会課題の解決と地域の活性化**を図る官民連携プロジェクトの創出を目指す
- 同戦略が目指す、社会課題の解決と地域の活性化を図るための官民連携プロジェクトとして、現在、「農業」、「デジタルヘルス」、「環境」、「モビリティ」及び「スポーツ」の5つのイノベーションプロジェクトを推進



2025年度取組内容

- Web上に構築した「革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）」及びSTATION Ai内にリアルな拠点として「A-IDEA事務局」を設置し、リアル・バーチャルを融合した拠点の形成
- ソーシャルイノベーション創出基金を創設し、社会課題の解決に資するエコシステムの裾野拡大を推進

柱2 地域産業の活性化

- 感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化



あいちサービス大賞表彰式

商業、サービス産業、地場産業の振興

- サービス産業の生産性向上の促進
- 「あいち商店街活性化プラン 2025」に基づく商店街の活性化
- 地場産業の新商品開発・販路拡大等の支援

2025年度取組内容

- 繊維・窯業の各産地と行政、ジェトロ等が共同して、海外のバイヤーを招聘し、商談会や産地視察等を行う、窯業・繊維産地海外バイヤー招聘事業の実施
- 繊維をはじめとする地場産業の魅力を国内外に発信するファッショニイベントの開催



中国向けテキスタイル輸出商談会

課題解決型産業の育成

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンニュートラルのエネルギーとして期待される
水素やアンモニアの利活用を促進
- 様々な分野における水素の社会実装を目指し、2025年4月に「**水素社会実装推進課**」を設置



FC商用車決起集会



第6回中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議の様子

2025年度取組内容

- 水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両(FCフォークリフト)導入に対する補助の実施
- FC商用車の燃料について、軽油との差額への補助の実施
- 水素ステーションへの水素の運搬・貯蔵の拡充を図るため、トレーラー導入に対する補助の実施

中部圏水素・アンモニア 社会実装推進会議

設立：2022年2月21日

(「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」として設立)

目的：カーボンニュートラルの実現に向け、地域一体となって中部圏の大規模な水素・アンモニアの社会実装を推進する。

構成：行政機関、経済団体、中部圏水素利用協議会、(株)JERA

柱4 グローバルな産業拠点機能の向上

- 県内企業のグローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
- 東京一極集中の是正やサプライチェーンの再構築の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上



オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏とのMOU
締結式（フランス・リヨン）



知の拠点あいち

国際ビジネスの拡大支援

- ワンストップ窓口である「あいち国際ビジネス支援センター」の設置
海外産業情報センター・サポートデスクによる海外展開支援

立地環境の整備・企業誘致の推進

- 企業立地のワンストップ窓口「産業立地サポートステーション」
の設置や日本トップクラスの優遇制度で企業を力強くサポート

研究開発機能の強化

- 知の拠点あいち重点研究プロジェクトの推進、大学や企業等との
共同研究の実施、あいちシンクロトロン光センターの利活用の促進

2025年度取組内容

- MOUを締結する海外の国・地域との経済交流の推進
- 海外で開催される産業展示会等への出展支援（展示会への出展
料支援、フランスで開催される「グローバル・インダストリー」への県
ブース設置）
- 産学行政連携による研究開発事業「知の拠点あいち重点研究プロ
ジェクトV期（26研究テーマ）」の推進

立地環境の整備・企業誘致の推進

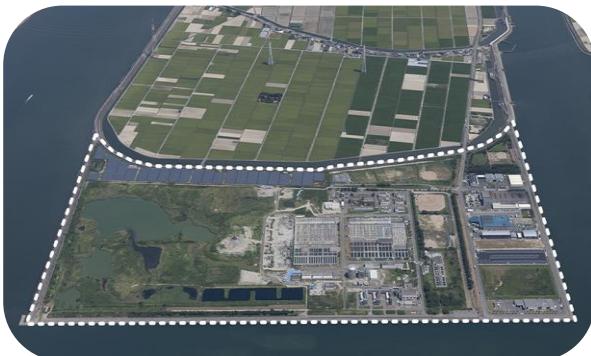
- 企業立地のワンストップ窓口「**産業立地サポートステーション**」の設置や「**産業競争力強化減税基金**」を活用した**日本トップクラスの優遇制度**で企業を力強くサポート

2025年度取組内容



企業用地（常滑臨空都市）

- 「**産業立地サポートステーション**」をワンストップ窓口とした国内外の企業や市町村からの相談対応及び用地情報や各種優遇制度等の情報提供の実施
- 「**産業競争力強化減税基金**」を活用した**21世紀高度先端産業立地補助金**、**新あいち創造産業立地補助金**による**企業立地の促進**
- **産業立地促進税制**による**不動産取得税の免除・減額**



企業用地（衣浦14号地）

制度名		内容
21世紀高度先端産業立地補助金		高度先端分野の投資案件を支援 補助率：10%以内 限度額：100億円
新あいち創造産業立地補助金	Aタイプ	市町村と連携して県内における再投資を支援 補助率：10%以内 限度額：10億円
	Bタイプ	産業競争力強化に資する製品・部素材の製造・研究に取り組む企業への支援 補助率：10%以内 限度額：10億円
	Cタイプ	ソフト系IT企業及びSTATION Aiから転出するスタートアップを支援 補助率：県内初進出50% その他30% IT技術者への雇用加算50万円/人（県内初進出のみ） 限度額：県内初進出 初年度1,000万円 2・3年目350万円 その他 初年度700万円 2年目300万円

基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

- 本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援



あいち産業振興機構のマネージャーによるセミナー

経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援

- (公財) あいち産業振興機構、商工会・商工会議所を始めとした支援機関による幅広い経営支援を実施
- 中小・小規模企業の新分野進出・販路開拓を支援するとともに、県内事業者の事業承継を促進するための各種施策を展開

デジタル技術の導入支援

- 県内中小企業・小規模企業の生産性向上や新たな価値創出が図られるよう、デジタル技術の導入を支援
- あいち産業DX推進コンソーシアムにおける情報発信や施策展開等、関係団体と連携して地域全体のデジタル化・DX支援を強化

中小・小規模企業の魅力発信

- 愛知県の製造業の実力を広く国内外にアピールし、世界的ブランドへと知名度の向上を図るため、県内の優れたモノづくり企業を「愛知ブランド企業」として認定

デジタル技術の導入支援

- 県内中小企業・小規模企業の**生産性向上**や**新たな価値創出**が図られるよう、デジタル技術の導入を支援
- **あいち産業DX推進コンソーシアム**における情報発信や施策展開等、関係団体と連携して地域全体のデジタル化・DX支援を強化

2025年度取組内容



あいち産業DX推進コンソーシアム
3周年イベント（2024/11/26）

- デジタル技術の利活用に係る経営者向けセミナーや研修を開催
- デジタル技術活用相談窓口を運営し、企業の課題に対する相談対応やITベンダーとのマッチングを実施
- デジタルツール導入サポートやコンサルティングにより、成功モデルを創出し、県内企業に横展開
- デジタル化・DXを促進するため、デジタルツールの導入、コンサルティング、システム改修等を支援するための補助金を設置
- 情報セキュリティ対策状況の診断を実施し、診断結果をもとに、県内中小企業等の具体的な情報セキュリティ対策の検討を支援
- DXの促進のためビジネスモデルの創出や業務プロセスの再構築による変革を目指した支援
- デジタル人材育成に関するアドバイザー派遣や、社内カリキュラムの作成から研修の実施、終了後のフォローアップまでの支援を行うモデル事業を実施

中小・小規模企業の魅力発信

- 愛知県の製造業の実力を広く国内外にアピールし、世界的ブランドへと知名度の向上を図るため、県内の優れたモノづくり企業を「**愛知ブランド企業**」として認定



大学での出前講座

2025年度取組内容

- 認定企業の認知度向上のため、専用Webサイト等による情報発信の実施
- 認定企業の販路拡大のため、展示会への出展支援を実施
- 人材確保の機会提供のため、大学等と連携した出前講座や採用活動支援の実施

愛知ブランド企業

オンリーワンやトップシェアなど世界に誇る独自の技術や製品を持つ愛知県内の優れたモノづくり企業417社（2025年9月現在）を「愛知ブランド企業」として認定。

<2024年度新規認定企業>

渡辺精密工業(株)、(株)三洋製作所、松永製菓(株)、(株)放電エンジニアリング、(株)成田製作所、(株)三明製作所、(株)コデラダイナックス、(株)三葵コーポレーション



愛知の大型事業・プロジェクト

- 2025年度** **IGアリーナ（愛知国際アリーナ）オープン(7/1)**
国際芸術祭「あいち2025」(9/13-11/30)
第63回技能五輪全国大会(10/17-20)・第45回全国アビリンピック(10/17-19)
World Robot Summit 2025(12月)
- 2026年度** **第20回アジア競技大会(9/19-10/4)**
第5回アジアパラ競技大会(10/18-24))
- 2027年度以降** **第60回アジア開発銀行年次総会 (2027年5/2-5/5)**
2028年技能五輪国際大会
リニア中央新幹線（東京-名古屋間）開業

【お問合せ先】

愛知県 経済産業局産業部 産業政策課

<https://www.pref.aichi.jp/sangyo-seisaku/>

TEL 052-954-6330

E-mail sangyo-seisaku@pref.aichi.lg.jp